

## プラットフォーム事業者における利用者情報の取扱いについて

社名	Facebook Japan 株式会社	
1. 利用者情報の取扱いの状況		
1-1.	利用者情報取得の場面・取得する情報の内容	<p>弊社は、個人データを収集し使用方法について、利用者に明確で有意義かつ容易にアクセスできる情報を提供することを目指しています。また、弊社は、意義ある透明性の促進に努めており、また、可能な限り多くの人々が情報にアクセスできるよう、平易な言葉遣い、レイアウト、色調及びアイコンを主に使用するデザイン方針を採用しております。</p> <p>以下では、弊社による個人データの収集・使用方法、プライバシーについて利用者が利用し得る機能及び設定、並びに弊社が利用者に知識や情報を与えるために使用している各種の方法をご説明します。</p> <p>個人データの収集</p> <p>人々は、友人や家族とつながりを保ち続けるために、世界で起きていることを知るために、また、利用者にとって重要なことを共有・表現する</p>

		<p>ために、弊社のサービスを利用します。弊社は、こうした使用者の興味・関心に合わせたサービスを提供するために、個人データを使用します。</p> <p>弊社は、Facebook、Instagram 及び Messenger の各サービスを提供する際に、利用者に関する情報を (i) 利用者等が実行および提供するもの、(ii) デバイス情報及び (iii) パートナーからの情報という 3 つの基本カテゴリで受領します。それぞれ、Facebook のサービス、Instagram 及び Messenger に適用される弊社のデータに関するポリシーに概説されます。Facebook 社が提供するサービスへの参加を希望する利用者が提供を求められる情報は、氏名、メールアドレス又は電話番号、性別、生年月日のみです。Instagram への参加を希望する利用者が提供を求められる情報は、メールアドレス又は電話番号及び生年月日のみです。また、利用者は、自らの選択により、自身の住所、言語、学歴、仕事、趣味及び好きな映画や本、音楽に関する情報等、プロフィールの追加情報を弊社に提供することもできます。さらに、利用者の弊社サービスとのエンゲージメントに関する情報も収集されます。この利用者のエンゲージメントに関する情報には、例えば、利用者が「いいね！」ボタンを押した Facebook ページ、利用者が参加している Facebook グループ、利用者が使用している他のアカウント、利用者が閲覧するコンテンツ、プラットフォームにアップロードするコンテンツ（投稿、写真、動画、ストーリー等）及び任意で行うフィードバック（広告が不適切であり又は関連性がないこと等）が含まれます。</p> <p>弊社は、自社のサービスと統合された、利用者が利用するデバイスからの情報、及び当該デバイスに関する情報を収集します。弊社のデータに</p>
--	--	--

		<p>関するポリシーで説明するとおり、弊社が収集するデバイス情報には、以下のようなものがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● デバイスの特質：オペレーティングシステム、ハードウェアとソフトウェアのバージョン、電池レベル、信号強度、ストレージの空き容量、ブラウザの種類、アプリとファイルの名称と種類、プラグインなどの情報。</li><li>● デバイスの操作：デバイス上で行われる操作と行動、ウィンドウが前景か背景であるか、マウスの動き（ボットの識別に役立てることが可能）などの情報。</li><li>● 識別情報：利用者が利用するゲーム、アプリ、アカウントからの固有の識別情報、デバイス ID、その他の識別情報、および Family Device ID（または、同じデバイスやアカウントに関連付けられている Facebook グループ企業の製品に固有の他の識別情報）。</li><li>● デバイスの信号：Bluetooth シグナル、および近くの Wi-Fi アクセスポイント、ビーコン、セルタワーに関する情報。</li><li>● デバイス設定データ：GPS の位置情報、カメラ、写真など、デバイス設定で有効にすることにより利用者が弊社のアクセスを認めている情報。</li><li>● ネットワークおよび接続：携帯電話会社名、インターネットサービスプロバイダー名、言語、タイムゾーン、携帯電話番号、IP アドレス、接続速度、場合によっては近くにあるまたはネットワーク上にある他のデ</li></ul>
--	--	---

		<p>バイスに関する情報など、弊社が利用者の利用を手助けするための情報（動画を携帯電話からテレビにストリーミングするなど）。</p> <p>●Cookie データ：使用デバイスに保存された Cookie データ (Cookie の ID や設定など)。</p>
1-2	取得情報の加工・分析・利用状況	<p>個人データの利用</p> <p>弊社のデータに関するポリシーには、利用者による選択に服することを条件として、弊社が弊社の有する情報をどのように利用するのかが明記されています。例えば、弊社は、下記の目的のために受領したデータを利用します。</p> <p>● 利用者のための弊社の製品及びサービスの提供、パーソナライズ化及び改善：弊社は、(i) 機能及びコンテンツ（ニュースフィード及び広告など）のパーソナライズ化並びに、利用者に合わせたコンテンツの推奨し、(ii) よりパーソナライズ化され、広告支援サービス（Facebook のサービス、Instagram 及び Messenger を含む。）において統合的な体験を提供するために情報の連結し、(iii) それらのサービスの開発、検証及び改善といった弊社のサービスを提供及び改善するために受領した情報を利用します。</p> <p>● 測定、分析及びその他のビジネスサービスの提供：弊社は、保有する情報（訪問したウェブサイトや閲覧した広告など、利用者の弊社製品外におけるアクティビティを含む）を、広告主などのパートナーが広告効果や</p>

		<p>サービス利用状況を測定し、そのパートナーのウェブサイト、アプリ、サービスをどのようなタイプの人々が利用し、どのように反応しているかを分析できるようにする目的で使用します。これにより、広告主は、高度な透明性及び測定にかかる知見を得られるとともに、より効果的な広告予算の活用方法に関する十分な情報に基づく意思決定が可能となります。</p> <p>● 安全性、健全性及びセキュリティの促進：弊社は、保有する情報を、アカウントとアクティビティの認証、悪質な行為への対処、スパムなどの問題の検知と防止、弊社製品の保全維持、弊社製品の内外における安全とセキュリティの推進のために利用します。</p> <p>● 公益目的のための研究及びイノベーション：弊社は、一般社会福祉、技術進歩、公共の利益及び健康と福祉といったトピックに関する研究及びイノベーションの実施及び支援を目的として、受領した情報（弊社と協働する選り抜かれた研究パートナーからの情報など）を利用します。例えば、弊社は救助活動を支援するために、災害発生時の避難行動パターンに関する情報を分析します。</p>
1-3.	利用者情報の第三者提供の状況	<p>弊社は、弊社製品の提供と改善をサポートするサードパーティパートナー、または Facebook のビジネスツールを使って自社ビジネスを拡大するサードパーティパートナーと連携することによって、弊社の運営と世界中の人々への無料サービス提供を実現しています。弊社は、利用者の情報を他者に販売していませんし、今後も決していたしません。また、パートナーに対しては、弊社が提供するデータの利用と開示方法について</p>

厳しい制約を課しています。情報を共有する外部パートナーの種類は次のとおりです。

#### 弊社の分析サービスを利用するパートナー

弊社は、個人または事業者が自身の投稿、リスティング、ページ、動画、その他 Facebook 製品内外のコンテンツに対する人々の反応を把握できるように、集約した統計やインサイトを提供します。

#### 広告主

Facebook は、広告を見た人のタイプや広告の効果についてのレポートを広告主に提供していますが、利用者が許可する場合を除き、利用者を特定する情報(利用者への連絡や特定につながる利用者名やメールアドレスなど)は共有しません。例えば、利用者のデモグラフィック情報や趣味・関心に関する一般的な情報(例えば、広告を見た利用者は、マドリッドに住んでいる 25~34 歳の女性で、ソフトウェアエンジニアリングに関心があるといった情報)を、ターゲット層を把握するために役立たせる目的で広告主に提供しています。また、どの Facebook 広告が購入やアクションにつながったかを確認し、広告主に知らせます。

#### 効果測定を行うパートナー企業

弊社は、利用者に関する情報を、弊社パートナーに分析や測定のレポートを提供する目的で、データ集計を行う企業と共有します。

#### 弊社製品で商品およびサービスを販売するパートナー

利用者が有料コンテンツの受信を申し込むか、弊社製品内で販売されるものを購入する場合、当該コンテンツのクリエイターや販売者は、利用者の公開情報や他の共有情報、および取引完了に必要な情報(配送先や連絡先情報など)を受信します。

#### ベンダーとサービスプロバイダー

弊社は、技術インフラサービスの提供、弊社製品の利用状況の分析、カスタマーサービスの提供、決済の代行、アンケートの実施などにより弊社の事業を補助するベンダーとサービスプロバイダーに、情報とコンテンツを提供します。

#### 研究機関や教育機関

また弊社は、自社の事業やミッションを支える学問やイノベーションを推進し、広く社会の福祉、技術の発展、および公共の利益、健康、福利に関する発見とイノベーションに資する調査を実施するために、調査パートナーおよび学術機関に情報とコンテンツを提供します。

#### 法執行機関や法的要請

弊社は、一定の状況において、法執行機関に対し、または法的要請に応じて、情報を共有します。

1-4.	<p>広告ビジネスモデルへの利用者情報の活用状況</p>	<p>弊社は、広告やクーポンなどの利用者に表示するスポンサーコンテンツを選定およびパーソナライズする目的で、利用者に関して弊社が保有する、利用者の趣味・関心、アクション、つながりなどの情報を利用します。</p> <p>弊社が利用者の個人データを広告主に販売することはありません。また、利用者の明確な許可を得ずに、利用者を直接特定できる情報(氏名、メールアドレスまたは他の連絡先情報など)を広告主と共有することはありません。</p> <p>その代わりに、広告主は自社の広告の配信を希望するオーディエンスの類型などを弊社に知らせることができ、弊社は興味を持ちそうな人にその広告を配信します。</p>
1-5	<p>利用者のプロファイリング・セグメント化状況</p>	<p>弊社は保有する情報を、機能とコンテンツのパーソナライズ、弊社製品の内外における利用者へのおすすめの表示を含め、弊社製品を提供するために利用します。</p> <p>弊社は、利用者に合わせて関連性の高いパーソナライズ製品を作成するために、利用者などから取得および認識したデータに基づく利用者のつながり、嗜好、関心、およびアクティビティを利用します。また、利用者の弊社製品の利用状況ならびに弊社製品に対する反応、および利用者が弊社製品の内外でつながりを持ち関心を抱いている人、場所、物についても同様に利用します。</p>



## 2. 利用規約・プライバシーポリシー

### プライバシーポリシー等

2-1.	利用者情報の取扱いに係るプライバシーポリシーの内容	<p>データポリシーにおいて、「弊社が取得する情報の種類」、「弊社が取得した情報の利用目的」、「情報の共有方法」、「ポリシー変更の際の通知方法」等の項目について説明しています。</p> <p>詳しくは、下記 URL をご覧ください。</p> <p><a href="https://www.facebook.com/privacy/explanation">https://www.facebook.com/privacy/explanation</a></p>
2-2.	サービス利用開始前の利用者への示し方、通知/同意取得の方法 (導線及び掲載場所)	<p>弊社は、弊社のサービスの利用者が自らの個人データがどのように利用されているかに関する十分な情報を確実に受領し、また、弊社と共有する情報を精査及び管理するための権限を確実に付与されるようにするための多くの方法を利用しています。これにより、利用者は、弊社のサービスへの登録及びエンゲージメントの選択において、十分な情報に基づいた意思決定が可能となります。</p> <p>弊社による個人データの収集及び利用に関するすべての利用者への十分な通知を担保するために、すべての見込利用者には最初の登録前に弊社のデータに関するポリシーが提示されます。利用者は、登録時に、関連するサービス利用規約、データに関するポリシー及び Cookie</p>

に関するポリシーを確認及び同意するよう求められます。登録が完了した利用者は、ほぼすべての Facebook のサービスウェブページから、Instagram ウェブサイト並びに Facebook のサービス及び Instagram 上のアプリ内メニュー経由で、データに関するポリシーへ容易にアクセス可能となります。

The image shows two side-by-side registration forms. The left form is titled "Sign Up" and includes fields for "First name", "Last name", "Mobile number or email", "New password", "Birthday" (with dropdowns for month, day, and year), and "Gender" (with radio buttons for Female, Male, and Custom). Below the form is a green "Sign Up" button. The right form is titled "アカウント登録" (Account Registration) and includes fields for "姓" (Surname), "名" (Name), "携帯電話番号またはメールアドレス" (Mobile phone number or email address), "パスワード" (Password), "誕生日" (Birthday) with dropdowns for year, month, and day, and "性別" (Gender) with radio buttons for 女性 (Female), 男性 (Male), and カスタム (Custom). Below the form is a green "アカウント登録" button. Both forms have a close button (X) in the top right corner.

2-3.

変更に際しての通知/同意取得の方法

データポリシーに変更を加える場合、弊社は事前に利用者へ通知し、利用者が改訂後のポリシーを確認し、今後製品の利用を続けるかどうかを検討できる機会を設けます。

		<p>弊社は、自社のプライバシー・プラクティスに関してフィードバックを行う機会を利用者に提供する取り組みを行っており、これは、2018年に行われた弊社のデータに関するポリシーの大幅な更新の際に講じたプロセスからも明らかです。当時、弊社は、データに関するポリシーの更新版を世界中の利用者に向けてリリースし、更新が確定されて利用者が更新後のポリシーへの同意を求められる前に、フィードバックを行う機会を提供しました。</p>
2-4.	<p>利用開始後（最初の同意・通知後）における、定期的な通知等の工夫</p>	<p>弊社は、利用者に対してプライバシー関連の設定に関する情報を提供し、利用者が自らのプライバシー関連の設定を管理するのに支援するための様々な啓発ツール及び機能を利用しています。Facebookのサービスの実例を以下に記載しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● プライバシーツアー： 新規及び既存利用者は、自らの情報がどのように共有されるかを管理するために、自らが使用することのできる機能及び設定を段階的に学べるツアーに参加することができます。新たな利用者は全員、プライバシーツアーに参加するよう促されます。</li> <li>● プライバシーセンター： 弊社は、Facebookのサービスのほぼすべてのページの上からアクセスできるプライバシーセンターというメニュー画面を提供しています。プライバシーセンターでは、利用者はわずか数回のタップで自身のデータを管理できます。このメニュー画面上では、個人情報の管理方法（例：利用者は共有している内容の確認及び必要な場合の削除が可能）や閲覧する広告の管理、自身の投稿及びプロフィール情報を閲覧可能な相手の管理についてより深く学べ</li> </ul>

るわかりやすい説明を表示しています。

<https://www.facebook.com/help/395495000532167/?ref=share>

[https://www.facebook.com/ads/about/?entry\\_product=privacy\\_shortcuts](https://www.facebook.com/ads/about/?entry_product=privacy_shortcuts)

● プライバシー基本ガイド：教育ツールのプライバシー基本ガイドは、プライバシーに関するさらなる情報を利用者に提供しており、FAQ機能の人気トピックも含まれています。

● ヘルプセンター：弊社は、広範囲にわたるトピックを検索可能なヘルプセンターを公開しています。ここでは、弊社のサービスの流れや利用者による管理に関する詳細情報が提供されています。

● アカウント設定：全ての利用者は、自身のアカウント設定内でプライバシー関連の設定及び管理に容易にアクセスすることができます。

● プライバシー設定の確認：プライバシー設定の確認ツールでは、利用者はデータ共有範囲に関する自身の選択を確認することができます。このツールは利用者の重要なプライバシー関連の設定に関するリマインダーの役割を果たし、利用者に自身が選択した内容を維持するか又は更新するかについて評価するよう促します。

● 全体公開投稿リマインダー：利用者が友達のみとの共有ではなくコンテンツを一般公開する意図があるかを確認するために、弊社は、利

		<p>ユーザーがコンテンツを一般公開するという選択を行う前に、短い通知を利用者に送ります。</p> <p>● Facebook ヒント：さらに、弊社は、利用者に対して、ヒントを通じて Facebook のサービス上での管理の活用や個人情報の保護に関する啓発を定期的に行っています。ヒントは利用者のニュースフィードに表示され、世界中の利用者が自身に合ったかたちで Facebook のサービスを利用できるようにするためにパーソナライズされるものとして製品内に組み込まれているものです。ヒントは利用者のアカウントを安全に保つ方法から Facebook のサービス上での個人情報の管理及び保護、そして友達との交流の新たな方法まで広範なトピックを扱っています。</p>
<p>透明性確保のための工夫</p>		
<p>2-5.</p>	<p>利用者情報の取扱いを分かりやすくするための考え方、工夫や対処（利用者への働きかけや情報提供、ユーザーテストの実施等）</p>	<p>自分の個人情報を理解し、管理できるようにするためには、関連するデータ取り扱い方法について利用者に通知することが不可欠です。しかし、その通知は意味のあるものでなければ効果的であるとは言えません。日本人が日々接する組織やサービスの数が多いことを考えると、「通知疲れ」を起こさずに十分な情報を提供するにはどうすればよいか、という点が課題となります。利用者は情報を得る必要がありますが、単に伝える情報の量を増やすだけでは十分ではありません。弊社としては、事業者に対して長くて複雑な、あるいは法律用語を多用した事前の通知するよう求める事細かなルールを適用することは、</p>

消費者の利益にならないと考えています。むしろ事業者は、人々に情報を提供すると同時に、人々が自分にとって意味のあるプライバシーの選択ができるようにする新しい方法を見つける必要があります。

その出発点として、「人」に焦点を当て、プライバシー情報をどのように理解し、異なるタイプのプライバシー通知とどのように関わり合いを持って行くのかを考えることが重要です。プライバシーに関する効果的なコミュニケーションとは、デジタルサービスを利用する人々の多様性や、コネクテッドデバイスや人工知能などの進化するテクノロジーを人々がどのように理解し、どのように作用するかを認識し、それに合わせて設計することでもあります。「人」を中心に据えることによってのみ、利用者とのコミュニケーションのためのより良いアプローチを開発することができます。要するに、プライバシーに関する通知をデザインしたり、プライバシーについて利用者とコミュニケーションをとるのに、画一的なアプローチはないということです。むしろ、様々なコンテキスト、利用者、サービスを考慮した上で、最適なソリューションを提供する必要があります。

弊社は、2020年7月にホワイトペーパー「Communicating About Privacy」を発表して以来、消費者にプライバシーに関する情報を提示するためのより良いアプローチを模索するために、世界中のステークホルダーと協議を重ねながら、この課題を深く追求してきました。ホワイトペーパーでは、自分の情報がどのように使用されているかを人々に知らせるための、最良と思われるデザイン手法を幅広く紹介しています。その中で明らかになったのは、すべての消費者にとって有

効な、唯一の「正しい」プライバシー通知の方法はないということです。

他の多くの事業者と同様に、弊社もすでに、消費者がより詳細な情報を見つけられるようにリンクを張ったり、階層状のプライバシー通知を採用しています。しかし、階層化された通知をナビゲートすることは複雑であると批判する声もあります。事業者は、提供する情報が多すぎると批判される一方で、少なすぎるとも批判され、板挟みにあってしまいます。これは、何らかの規律によって、通知の基準やデザインを一つに規定しようとするものの限界を示しています。

法的枠組みは、様々な状況で適切なデザインを可能にし、実際にそれを奨励するための十分な柔軟性を提供する必要があります。すべての事業者及び消費者にとって唯一の解決策がないことを考えると、規制の課題は、1つのアプローチを義務付けることではなく、また消費者が読みそうもない長くて内容が凝縮した、事前通知を奨励することでもなく、どのようにして企業に高い基準を課すかということです。弊社は、検討の指針となる重要な原則がいくつかあると考えています。

すなわち、規制は、長々とした事前通知を奨励するものであってはなりません。また、消費者と事業者との関係が開始する時に潜在的に関連する情報のすべてが、一度にすべて消費者に提供される必要はありません。このようなアプローチは、その時点では消費者に関係のない可能性のある多くの情報を消費者に過剰に提供する危険性があります。長い通知は、消費者が自分のプライバシーについて熟慮して決定するのに役立ちません。むしろ、消費者と事業者との関係の中で、文

		<p>脈の中で、また時間をかけてプライバシー情報を提供することに重点を置くべきです。</p> <p>また、ホワイトペーパーでは、より質の高い通知の開発を促進するために、業界と規制当局が協力して通知の基準を策定することや、説明責任の手段を再設計して、単に結果だけではなく、適切なプライバシー設計プロセスの遵守を求めることなどの提案も行っています。弊社は、この分野での先進的な考え方に貢献する役割を果たしたいと考えています。</p>
2-6.	<p>同意取得/通知に際しての、利用規約やプライバシーポリシーを理解しやすくするための工夫</p> <p>(階層的アプローチ、ダッシュボード、ジャストインタイム、アイコン、モバイル及びスマートデバイスの特徴の利用等)</p>	<p>弊社は日々新しいプライバシー管理機能の開発や、利用者に分かりやすい設計に取り組んでいます。そのための研究に注力し、社外のデザイナー、開発者、プライバシー専門家、規制当局などとも協力していきます。</p> <p>上述のとおり、2020年7月、弊社は、事業者はプライバシー設計の決定において「人」を中心に据えることで、プライバシー情報をよりよく伝える必要性を強調したホワイトペーパーを発表しました。うまくいけば、リテラシーレベルやテクノロジーへの精通度にかかわらず、すべての人が、自分のデータをいつ、どのように共有するかについて、十分な情報を得た上で選択できるようになります。しかし、データとプライバシーに関する選択を人々に理解してもらうという課題は、個々の事業者だけによっても、一方で、政府だけでもまた、解決できないことです。そのため、ホワイトペーパーでは、事業者、政策</p>



		<p>立案者、その他の専門家が協力し合うことの重要性も強調しています。</p> <p>弊社が設立し支援する業界横断的な取り組みである TTC ラボを通じて、私たちはさまざまな専門家や企業と協力し、データやプライバシーの選択について人々によりよく知らせるためのクリエイティブなデザインソリューションを開発しています。</p> <p>弊社は長年にわたり、プライバシー情報を利用者と共有するための新しい方法を常に模索してきました。例えば、データポリシーのデザインを変更し、より読みやすく、適切なものにしたり、「プライバシー設定の確認」のような製品内プロンプトの追加を行ったり、さらには「この広告が表示されている理由」や「Facebook 外のアクティビティ」などの機能を展開しています。</p>
<p>オプトアウト</p>		
<p>2-7.</p>	<p>利用者情報の提供を希望しない意思を示すオプトアウトの設置状況（方法、対象範囲等含む）</p>	<p>弊社のサービスは広告収入により支えられているため、弊社はパーソナライズ広告のすべてをオプトアウトする選択肢は利用者に付与していません。一方で、すべてをオプトアウトする選択肢を利用者に付与する代わりに、弊社は利用者が Facebook のサービス上で閲覧する広告をカスタマイズ及び管理できる各種のツール及び機能を提供しております。</p>

2-8.	オプトアウトをした場合のサービス利用継続の可否	2-7 参照
2-9.	利用者情報の提供について個別に選択できるダッシュボード等の設置状況（方法、対象範囲等含む）	<p>Facebook 社は、利用者が Facebook 社の提供するサービスでの体験をカスタマイズしてコントロールするための一連のツールや機能を提供しています。</p> <p>「広告表示の設定」において、広告のターゲット設定に使用されるプロフィール情報、興味・関心のカテゴリ等を設定・管理することができます。</p> <p>「この広告が表示されている理由」は、利用者が特定の広告が表示される理由の説明を確認することができます。</p> <p>「Facebook 外のアクティビティ」機能により、利用者は事業者や組織が自社アプリ又はウェブサイトの訪問、コンテンツの閲覧、及びショッピングカートへのアイテムの追加などの利用者のインタラクションに関して弊社と共有しているアクティビティの概要の確認や、各自の Facebook のアカウントからの当該アクティビティの関連付けを解除することができます。</p>
データポータビリティ		

2-10.

データポータビリティに関する取組（データポータビリティを求める方法、対象範囲）

データポータビリティは、弊社にとって重要な課題です。弊社は2010年に初めて「個人データをダウンロード(Download Your Information:DYI)」ツールを発表しましたが、利用者が自分のデータを選択し、コントロールできるようにするために、新しいデータポータビリティツールへの投資を続けてきました。2019年、創業者兼CEOのマーク・ザッカーバーグは、データポータビリティに関する規制を呼びかけ、「規制はデータポータビリティの原則を保証すべきだ。あるサービスでデータを共有した場合、それを別のサービスに移すことができるべきです。これにより、利用者に選択肢が与えられ、開発者は革新と競争を行うことができます」と述べています。

私たちは長年にわたり、Facebook やの「個人データをダウンロード(DYI)」や Instagram の「データをダウンロード(Download Your Data:DYD)」など、利用者が弊社のアプリで共有したデータや、そのアプリでの活動に関するデータを簡単に閲覧・ダウンロードできるさまざまなツールを開発してきました。

「個人データをダウンロード(DYI)」には、2種類のデータセットが対象になっています。一つは、「あなたの情報(your information)」で、プロフィール情報、投稿、「いいね!」、コメントなど、リクエストした個人が Facebook 上で入力、アップロード、共有した情報です。もう一つは「あなたについての情報(information about you)」で、Facebook へのログイン、使用しているデバイス、ニュースフィード、ウォッチ、ニュースでの推奨を行うための情報など、リクエストした個人の Facebook アカウントに関連する情報を含みます。利用者

は、「設定」→「あなたの Facebook 情報」を開き、「個人データをダウンロード」を選択することでリクエストを開始できます。このページでは、リクエストの対象となるデータのカテゴリの追加や削除、ダウンロードリクエストのフォーマットの選択、写真、ビデオ、その他のメディアの画質の調整、情報の特定の日付範囲の指定などを行うことができます。利用者が Facebook に参加した時期に応じて、100 以上のデータカテゴリから選択することができます。「データをダウンロード」には、Instagram の利用者向けに同様のカテゴリの情報が含まれています。ユーザーは、Instagram の「設定」→「セキュリティ」にアクセスし、「データをダウンロード」ツールを選択することで、Instagram データのダウンロード要求を開始することができます。

2020 年には、Facebook の写真や動画を Google フォト、Dropbox、Koofr、または Backblaze に転送することができる「写真または動画の転送」ツールを開始しました。ユーザーは、「設定」→「あなたの Facebook 情報」を開き、「あなたの Facebook 情報コピーを転送」を選択することで、写真やビデオの転送を要求することができます。そこから、フォトライブラリ全体または特定のアルバムを選択し、転送先を選ぶことができます。今後、新しいデータタイプや転送先の追加を予定しています。

2-11.

データポータビリティが可能である場合

- ・ 提供されるデータのフォーマット
- ・ 提供先の要件
- ・ インターオペラビリティ確保に関する考慮状況

利用者はいつでもデータファイルを要求することができ、HTML ファイル (DYI) または JSON (DYI および DYD) で受け取ることを選択することができます。HTML は、Facebook で一般的に使用されている、見やすいデータ形式です。受信者は ZIP ファイルで受け取ります。ZIP ファイルを開いて解凍すると、「index」という名前の HTML ファイルが含まれており、Web ブラウザで Web ページのように開くことができます。この ZIP ファイルには、リクエストされた画像や動画などのファイルが入ったフォルダが含まれています。JSON は機械的に読み取り可能なデータ形式で、他のサービスに情報をアップロードする際に、より簡単に情報を転送できる可能性があります。

Facebook では、アカウントを安全に保ち、DYI を含む Facebook 上の情報を保護するために、様々なセキュリティ対策を実施しています。情報のコピーのダウンロードを開始する前に、まずパスワードの再入力をお願いしています。また、ダウンロードの開始を許可する前に、追加の確認ステップの完了をお願いすることがあります。アカウント保護のため、ダウンロードリクエストは数日後に失効しますが、いつでも新しいリクエストをすることができます。

2018 年には、Apple、Google、Microsoft、Twitter と共同で、オンラインサービス間でデータを転送するための共通の方法を構築する「Data Transfer Project」への参加を発表しました。このプロジェクトの目標は、あらゆる規模のサービスが、利用者の要請に応じて、あるサービスから別のサービスへのデータポータビリティのための直接転送を安全に行うことを容易にし、これらのサービスを利用する人々

		<p>にとって、そのプロセスをよりシンプルにすることでした。このプロジェクトでは、どのようなサービスでも利用者に代わって直接転送を実行・管理することができるためオープンソースのライブラリを提供しています。</p>
2-12.	<p>個人情報保護法に基づく開示請求への対応状況（電磁的な開示の実施状況、開示請求の方法、提供フォーマット等）</p>	<p>弊社は、消費者がプライバシーに関する質問又は弊社のプライバシー慣行に関する質問を行えるように様々な連絡窓口を提供しています。</p> <p>例えば、Facebook 社のサービスについては、利用者及び利用者以外の方々も専用の問い合わせ用フォームを使用して Facebook 社のデータに関するポリシーについて弊社まで問い合わせることができます。また、弊社のデータに関するポリシーの末尾にある TRUSTe（外部の第三者紛争解決プロバイダー）のウェブサイトへのリンクを通じて、同社と連携することもできます。弊社のデータに関するポリシーには、弊社にメールで連絡することを希望する利用者向けの宛名及び住所も記載されています。また、利用者は、Facebook 社のサービスに投稿されたコンテンツについて肖像に係るプライバシーに関する苦情を申し立てることもできます。弊社のプライバシーに関する運営の専門家チームによって受領された質問に対しては、速やかに回答がなされます。</p>

また、弊社は、弊社のヘルプセンターにおいて、プライバシー設定とツールに関する分かり易い説明、問い合わせ用フォームへのリンク、及びよくあるご質問への回答を提供しています。

### 3. 他アプリやサイトを経由した情報収集の状況

3-1.

他アプリやサイトを経由した情報収集の状況

広告主、アプリ開発者およびパブリッシャーは、利用している Facebook ビジネスツール(ソーシャルプラグイン(「いいね!」ボタンなど)、Facebook ログイン、弊社の API と SDK、Facebook ピクセルなど)を通じて、弊社に情報を送信することができます。

これらのパートナーが提供する情報には、利用者の Facebook 外におけるアクティビティに関するものが含まれます。これには利用者のデバイス、訪問したウェブサイト、購入履歴、閲覧した広告、パートナーのサービスの利用状況が含まれ、利用者が Facebook アカウントを保持しているかどうか、または Facebook にログインしているかどうかに関わらず提供されます。

また、利用者のオンライン・オフラインアクションについて、および利用者の情報を弊社に提供する権利を有するサードパーティデータプロバイダーからの購入についての情報が弊社に提供されます。

3-2.	他アプリ提供者やサイト運営者に対し、どのような同意取得や通知を促しているか	利用者がパートナーのサービスを訪問、利用した場合、またはパートナーが連携する外部パートナーを通して、パートナーは利用者のデータを受け取ります。これらのパートナーが弊社にデータを提供する前に、パートナーが利用者のデータを取得、利用、共有する正当な権利を有していることを弊社は当該パートナーに要求します。
3-3.	JavaScript の取扱状況（後から情報取得内容が変更されることについて、他アプリ提供者やサイト運営者にどのように伝えているか等）	
3-4.	複数の他アプリやサイトから収集している場合の、情報管理状況	<p>第三者のアプリやウェブサイトから収集した情報は、以下のとおり、弊社のデータポリシーに基づいて管理／保存されています。</p> <p>弊社のグローバルなサービスとしてのデータの運用と移転方法</p> <p>Facebook 社では、Facebook グループ企業内だけでなく、弊社のパートナーや利用者が世界中でつながる共有者などの外部者とも、本ポリシーに従って情報を世界規模で共有しています。利用者の情報は、本ポリシーに記載される目的で、米国やその他利用者の居住地以外の国に移転、転送、保存、処理される場合があります。このようなデータの移転は、Facebook 利用規約および Instagram 利用規約に明記されるサ</p>



		<p>ービスの提供や、弊社製品のグローバルな運用と利用者への提供のために必要です。Facebook 社は、標準契約条項を活用するほか、該当する場合には特定国に関する欧州委員会の充分性認定に依拠し、米国や米国以外の国へのこのようなデータの移転について利用者の同意を取得しています。</p>
<p>4. 他社へのデータ提供、他社との連携の状況</p>		
4-1.	<p>他社に対する、取得した利用者情報・位置情報に基づくデータ提供の内容、提供に関する留意点（ユーザーへの説明、他社の監督、安全管理など）</p>	<p>1-3 参照</p>
4-2.	<p>利用者情報・位置情報の取得・活用に関する、他社との連携状況、連携に関する留意点（ユーザーへの説明、他社の監督、安全管理等）</p>	<p>ここ数年間、Facebook 社はデータの扱い方を変更し、データへのアクセスとデータの管理に関するパートナーの責任の持ち方を変えてきました。API へのアクセスを制限し、アプリレビューを拡張し、アプリ開発者の調査を開始しました。開発者が Facebook のプラットフォームを責任を持って使用し続けるために必要なツールと情報を確実に持つるようになるため、Facebook 社は次の 4 つの分野で改善を図ってきました。</p>

- ・ 開発者にデータの使用とシェアに関するさらに明確になったガイドランスを提供する。
- ・ 開発者に責任を持たせるための新しいツールとコントロールをビルドする。その中には、年ごとのデータの使用状況の確認プロセスがあります。このプロセスでは、開発者はFacebook プラットフォーム API 経由で自分たちがアクセスするデータのタイプをレビューし、データの利用方法がFacebook の規約とポリシーに準拠していることを確認できます。
- ・ 開発者のエクスペリエンスを改善する。開発プロセスとアプリレビュープロセスをカスタマイズして多種多様な開発者をより良くサポートできるようにし、アプリダッシュボードを更新して必要なすべてのアクションをさらに容易に確認できるようにしてきました。
- ・ 利用者のエクスペリエンスを改善する。アプリで利用者にポジティブなエクスペリエンスを提供するための追加のポリシーガイドランスを提供しています。

最初の分野での取り組みの一環として、Facebook 社のプラットフォームとツールを使用する際、データを保護し、利用者のプライバシーを尊重するという自分たちの責任を確実に事業者と開発者が明確に理解できるよう、新しいプラットフォーム規約と開発者ポリシーを導入します。

新たなプラットフォーム規約と開発者ポリシーは、既存の Facebook プラットフォームポリシー (Messenger プラットフォームを含む)、Instagram プラットフォームポリシー、拡張プラットフォーム製品に関する補足規約、技術提供者修正条項を簡素化し置き換えるものです。

プラットフォーム規約: プラットフォーム規約は更新され、データ利用の制限、データセキュリティ要件、規定の実施、利用規約と保証 (知的財産権など) に焦点が当てられています。これは、Facebook プラットフォームで製品とソリューションをビルドする際の、開発者の権利と責任をより良く概説するのに役立ちます。

- ・ プラットフォームデータの利用とシェア: 更新されたプラットフォーム規約では、Facebook のプラットフォームから開発者が受け取るデータの 2 層構造を定義し、各層のデータをどのように利用しシェアするかに関する明確なガイダンスが提供されています。プラットフォームデータと制限プラットフォームデータというこの新しい区分は、情報開発者が利用者の明示的な同意なしに第三者とシェアできるものを制限し、利用者データのセキュリティ保護を強化します。
- ・ データの削除: データ削除に関するポリシーの要件も明確化しています。開発者は、正当なビジネス上の目的のためのデータ利用の必要がなくなったらデータを削除することが求められます。開発者

が製品やサービスの運営を中止した場合、Facebook 社が削除を要請するか、開発者がデータを受け取るとエラーになります。

- ・ 施行&監督:更新された規約では、開発者に対する Facebook 社のデータセキュリティ要件の規定が強化されています。データ漏えいが発生した場合には、Facebook 社に通知し、すぐに問題の修復を始め、妥当な範囲で Facebook 社と協働することが求められています。また、監査、停止、施行に関する Facebook 社の規定も明確化しています。

開発者ポリシー:統合、品質コントロール、ユーザーエクスペリエンス、コンテンツ、美的、機能に関する要件をそれぞれ分け、開発者ポリシーという単一のドキュメントにまとめました。

1-4 及び 3-1 参照

## 5. サードパーティによる情報取得への対応方針

<p>5-1.</p>	<p>ウェブブラウザやアプリ経由等でサードパーティが情報取得することについての方針</p> <p>(Third Party Cookie や広告 ID 等の取扱い)</p> <p>ウェブとアプリで方針は同じか異なるか。</p>	<p>利用者がパートナーのサービスを訪問、利用した場合、またはパートナーが連携する外部パートナーを通して、パートナーは利用者のデータを受け取ります。これらのパートナーが弊社にデータを提供する前に、パートナーが利用者のデータを取得、利用、共有する正当な権利を有していることを弊社は当該パートナーに要求します。</p>
<p>5-2.</p>	<p>フィンガープリント、Unified ID 2.0 等のクッキーの代替手段での情報取得の動きについての考え方</p>	<p>オンライン広告業界では、以前から、異なるウェブサイト間で収集されるデータの収集と使用を制限する方向で動いています。</p> <p>私たちのアプローチは、プライバシーを保護しながらパーソナライズされた広告を可能にするテクノロジーを構築すると同時に、自由でオープンなウェブをサポートすることです。</p> <p>弊社は今後もプライバシーに係る透明性と利用者による管理を確保するべく投資していきます。また、業界における他の事業者もこうした原則をプライバシーに対するアプローチの基礎に据えるでしょうし、またそうすべきだと考えています。しかし、まだまだやるべきことがあることも認識しています。</p> <p>ここ数年、私たちが取り組んできた方法のひとつであり、今後も優先的に取り組んでいくものが、プライバシー保護技術 (PET) への投資です。これ</p>

は、より少ない個人データを処理しながらパーソナライズされた広告を提供することを目的としています。例えば、人々のデバイスに残っているデータを使ってアルゴリズムを学習する方法を検討しています。また、プライバシーに配慮した広告測定システムの構築に向けた業界の取り組みをリードしており、いくつかの技術をオープンソース化して他社が利用できるようにしています。

また、World Federation of Advertisers（世界広告主連盟）のクロスメディア測定イニシアチブなど、業界のイニシアチブに参加し、高度な広告ユースケースを可能にするプライバシー重視の測定システムの構築を支援しています。

これらの技術はソリューションの一部ですが、同時に、データの最小化などプライバシーに関する基本的な原則を守りながら、当社の製品がデータを収集・使用する方法を検討し続ける必要があります。そして、人々のプライバシーを尊重しつつ、パーソナライズされた広告のメリットを維持できると信じています。

また、業界やパートナー企業、政策立案者などと協力して、人々のプライバシーを確保しつつ、自由でオープンなインターネットをサポートし、あらゆる規模の企業が広告を通じて顧客にリーチできるようにする方法を模索することにも注力しています。当社は、Cookie やデータ収集に関するポリシーや慣行の変化に合わせて、この活動を継続していきます。

## 6. PIA・アウトカムについての考え方

6-1.

PIA の導入状況

(GDPR の DPIA の具体的な実施方法や、その他の実施事例)

弊社は、プライバシー・レビュー・プロセス（以下、「プライバシー・レビュー」）を導入しています。このプロセスは、人々の情報の収集、使用、または共有及び、弊社のプライバシーおよびセキュリティ慣行に関する外部への説明に係るにプライバシー・リスクを評価するプロセスです。また、このプロセスは、弊社が特定したプライバシーリスクを識別し、軽減するためのものでもあります。

プロダクトや機能の開発、新規または慣行の見直しは、プライバシーに関する以下のような観点から行われます。

目的の限定：人々に価値を提供する、限定された明確な目的のためのみデータを処理する。

データの最小化：明確な目的を達成するために必要な最小限のデータを収集・作成する。

データの保持：明確に示された目的を遂行するために実際に必要とされる期間のみ、データを保持する。

外部からのデータ誤用：データの乱用、偶発的な損失、および権限のない第三者によるアクセスからデータを保護する。

透明性と管理：プロダクトの動作やデータの取り扱いについて、積極的に、明確に、正直に伝える。可能な限り、また適切な場合には、人々が管理できるようにする。

データへのアクセスと管理：弊社が収集または作成したデータに人々がアクセスし、管理できるようにする。

公正さ：弱い立場にある人々のリスクを特定して軽減し、人々のために価値が創造されるようなプロダクトを構築する。

説明責任：弊社の意思決定、プロダクト、業務に関わる内部プロセスおよび技術的コントロールを維持する。

プライバシー・レビューは、弊社のコンプライアンス義務を評価して遵守し、法的要件を超えた広範なプライバシーリスクを特定して軽減するために使用される、深く協力的で部門横断的なプロセスです。このプロセスは、プライバシーチームが主導し、プロダクト、エンジニアリング、法的規制、セキュリティ、ポリシーなどのバックグラウンドを持つ、法務、ポリシー、その他を含めた横断的なチームに所属する社内のプライバシー専門家の専門家グループが実施しています。このグループは、プライバシー審査の決定と提案を行う役割を担っています。

このプロセスの一環として、横断的なチームは、プロジェクトに関連するプライバシーリスクを評価し、それらのリスクをコントロールするために発売前に行う必要のある変更があるかどうかを判断します。横断的なチームのメンバー間で何をすべきかの合意が得られない場合、チーム



		<p>はより上層のリーダーシップに諮り、解決のために必要であればさらにCEOに諮ります。</p>
6-2.	<p>利用者情報の取扱いに関するアウトカムについての検討状況（検討している場合、どのような考え方にに基づき判断しているか）</p>	<p>弊社は、全社的なプライバシーリスクを特定、評価、対処するための年次評価を行うとともに、事故発生後にプライバシーリスクを評価するプロセスを実施するプライバシーリスク評価プログラムを設計しています。今後、時間をかけて評価しながら、プライバシーリスク評価プロセスを進化・成熟させていきます。</p> <p>さらに、新しいプロダクトや機能にプライバシー・バイ・デザインを確実に組み込むための説明責任プロセス、セーフガード、技術的メカニズムを構築しました。弊社を取り巻く世界に即座に対応する必要がある中で、こうしたプロセスにより、新しいプロダクトや機能におけるプライバシー面での配慮を改善することができています。</p>
6-3.	<p>利用者に対する、PIAの結果やアウトカムの説明の取組状況</p>	<p>プライバシーに関する決定に関しては、利用者とどのようにコミュニケーションをとるかという弊社のDNAに組み込まれています。</p> <p>ニュースルームの投稿（「データを安全に転送するための手順」など）、データポリシー、透明性レポート、利用者へのグローバルな通知と更新、Facebookヘルプセンター（利用者がプライバシーや共有の設定を行う際に利用できる「プライバシーチェックアップ」など）を通じて、プライバシーに関する決定事項を明らかにしています。</p>

